

富士見市マスコットキャラクター着ぐるみ装着注意事項

☆確認事項

- 着ぐるみは、破損しやすいので慎重かつ丁寧に扱う。
- 雨天時の屋外及び火気の付近での使用は厳禁とする。足元が濡れている会場での使用についても厳禁とする。
- 着ぐるみ1体につき1名以上の補助者をつける。
- 補助者は成人とする。
- 装着者と補助者は、着ぐるみ装着注意事項を熟知しておく。
- 外から見えなく、着替え及び装着後の出入りができる控え室を確保する。
- 固定された扉の場合、搬入・搬出には90cm以上、着ぐるみを着て移動する場合は1m20cm以上が必要となる。
- 汚損しないように細心の注意を払い、シートなどを利用し着ぐるみを直接地面に置かないようにする。
- 頭部内にある送風機に電池（単三8個：使用者用意）を入れ、送風機が正常に作動することを確認する。
- 真夏の炎天下での使用は十分に注意すること。
- 貸し出し中は、装着者及び第三者に対する傷害保険に加入するなどの対応を図るとともに、十分な安全確保に努めること。

☆運 搬

- 使用許可を取った後、地域文化振興課と調整し、受け取り場所を確認する。
- 運搬時は成人2名以上の人員を確保し、慎重に取り扱う。
- 搬入・搬出時には、着ぐるみであることがわからないようにする。
- 運搬の際に着ぐるみを積み重ねることのないよう、大型で屋根付きの車両を用意する。
- 一箇所に力が集中しないよう体全体を持つようにする。特にピンク色の着ぐるみの髪の毛部分を持つと破損しやすいので注意する。

☆服 装

- 長袖、長ズボン、靴下を装着する。
- 頭部にタオル若しくは手ぬぐいをかぶる。
- アクセサリーは外し、化粧は落とす。

☆着 脱

- 着脱の注意事項については、別紙説明書を参照。

☆装着者の注意事項

- 装着者の身長は170cm前後が望ましい。
- 体調管理に十分注意し、体調不良の場合は装着してはならない。
- 全体的に視界が悪いので、着ぐるみだけでの行動は禁止。補助者に段差やスロープなどの周辺を確認してもらい一緒に行動する。
- 事前に視界及び動作の確認を行い、周囲への注意を怠らないようにする。

- 1回の装着時間は20分程度とし、必ず休憩を取る。
- 行事が長時間に及ぶ場合は、装着者を複数体制とし、順次交代する。
- 緊急の場合や乱暴な行為を受けた時のため、補助者へのサイン等を決めておく。
- 靴の幅を意識し、なるべく地面をずらないように足を持ち上げて歩く。
- 絶対に走らない。(事故、けが、破損につながる)
- 必ず補助者の指示に従う。
- キャラクターのイメージを損なわないように注意する。
 - ・決めポーズや立ち位置について、別紙資料を確認しておく。
 - ・お客様の見えるところでは着ぐるみの着脱は行わない。特に子どもに見られないように注意する。
 - ・お客様の前で声を出さない。

☆補助者への注意事項

- 補助者は必ず1体に1名以上つけ、常に着ぐるみの周囲に注意を払う。
- 装着時には着ぐるみがしっかり装着されているかを確認する。
- 装着者は視界が限られているため、絶えず周囲に気を配りながら状況を伝える。
- 出演時間・進行管理をしっかりと行う。
- 着ぐるみに危害を加えるお客様には、ハッキリとやさしく注意する。
- 装着者の健康状態に留意する。

☆使用中のトラブル・破損

- 事業の途中でも、着ぐるみが破損したり、又は破損するおそれのある場合には使用を中止する。(特に目の部分のプラスチックに傷がつきやすいので注意してください。)
- 着ぐるみが破損した場合は、勝手な判断で修補しないで地域文化振興課の指示に従う。

☆収納・返却

- 頭部と体、足の裏などを固く絞ったタオルで水拭きし、その後、風通しの良い場所で陰干しして乾燥させる。(洗剤や溶剤の使用は不可)
- 着ぐるみの内部については、臭いや汗染みなどがつかないようにする。
- それぞれ指定されている収納袋に入れて返却する。
- 丁寧な収納、運搬を心がけ、転がしたり引きずったりしない。
- 運搬時は成人2名以上の人員を確保し、慎重に取り扱う。
- 送風機の電池を外す。
- 返却時は、様式第3号「着ぐるみ使用報告書」を提出する。その際に原則として使用状況のわかる写真等を添付する。なお、データにて添付を行う場合には kyodo@city.fujimi.saitama.jp へ送信する。
- 返却時は、着ぐるみの状況を責任者と地域文化振興課職員と一緒に確認し、汚損等が確認された場合は、地域文化振興課の指示に従う。